

令和5年度
 専門学校静岡電子情報カレッジ 第37期生
 静岡福祉医療専門学校 第25期生

Congratulations on Your Graduation!!

理事長・校長 中村 徹

先ず初めに、この度の令和6年1月1日16時10分最大震度7の能登半島地震でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様ならびにその関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、被災地域の日も早い復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。

それでは改めまして、令和5年度、本学両校の栄えある卒業生の皆さん、修業年限2年と3年制の工業・商業、医療、介護・福祉、保育・幼児教育各分野の「**職業実践専門課程**」を修了し、文部科学省高等職業教育の「**卒業証書**」及び「**専門士の称号**」授与に、静岡福祉医療専門学校の卒業生は併せて、厚生労働省の各「**職業養成課程修了と国家資格又は受験資格 修得と取得**」おめでとうございます。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって大きな影響を受けた中で、たゆまぬ努力を重ねて専門スキルを身に付け、本日を迎えられた強い精神力を讃えます。

特に、留学生の皆さんは、母国を離れ、言葉や文化、環境が異なる日本での生活は不安な日々の中、前向きな姿勢と異文化と協調する能力の高さに深い感銘を受けました。

さて、本学での集大成として、皆さんが本学入学時の目標であったキャリアデザインの具現化実現の一步を今ここに踏み出されようとしております。

皆さんは本学独自の専門職中核的人材育成教育に、最先端ICT、映像音響エンタメ、医療、福祉・介護や幼児教育・保育等の第一線の各業界人の指導を受け、**産学連携の「実践的職業教育プログラム**」により育成されたスペシャリストとして社会へ旅立つところまででした。

これからはしっかりと社会的責任を自覚し、社会での評価を得て、本学の教えでもある「**仕事を通して自己実現を図る**」の具現化、その道の「**達人**」を目指してください。

変化の年、2023年度を振り返る 18歳成人に！猛暑：気候変動！

今年度は政治、経済、社会、技術などあらゆる面で変化のある1年だった。長引くコロナ禍の収束を願いながら迎えた4月2023年度。春の季節とともに、街は人だにぎわうようになり、以前の活気と明るさを取り戻しつつあるような上半期であった。5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類移行。

これにより、法律に基づく外出自粛などの要請がなくなり、マスク着用などの感染対策は個人や事業者の判断に委ねられた。

また、今年度から労働基準法、育児休業に関する法改正が施行され企業や社会が一体となって労働環境の改善や生産性向上、子育て支援につなげる。

そして、長引く世界情勢の緊迫を背景に輸入原材料や原油価格の高騰が続き、加えて10月に米ドル円相場は1\$=150円台を付け、円安傾向も物価高騰に大きな影響を与えた。

次に、身近になってきた生成AI(Generative Artificial Intelligence)の活用だ。利活用方法だけでなく、その真意やフェイク等の規制についての動向も注視を要す。

経済面でも2024年3月に日経平均株価がついに3万4千円の大台に乗せ、TOPIXも33年ぶりの高値を付けた。

コロナ5類移行後の本格的な景気回復に向け、日本株の動きに注目。

2024年は甲辰(きのえたつ)「物事の始まりや成長」「強運や隆盛」などを表すとされており、「創造」の心をもって目標の実現に向かって進むことを期待します。

そして、人生100年時代、社会に出てからも学び続けてください。

「**新たな知識を常に取り入れていくこと**」ブラッシュ・アップが日々の生活の中に求められます。要するに、本学の卒業は、人生の節目ではあるが、「学び」からの卒業ではなく、社会人として、生かされている者として、むしろ「**一生を通して自己実現を図る**」、「**試行錯誤の中からクリエイティブな精神を培う**」という本学の教えを、社会において新たな知識の獲得と創造のスタートラインに立ったということなのです。

今後は目指せ「希少性の高い人材」なのです。その道だけを究めるのではなく、知識の幅を広げるために、別のスキルを身につける方向にシフトしていくのです。今有しているA専門スキルに近いB専門スキル、次は「マーケットバリュー」のあるC専門スキルというふうに「希少性」を考えて戦略的に身につけることにより、より「希少価値の高い人材」を目指すことができるのです。

学校生活の集大成

SDG s CAN スカラシップ フィールドスタディ

CAN スカラシップ：フィールドスタディの活動、卒業研究・ゼミナール、ケアスタディ・臨地実習報告・発表会においては、各学科、各コースの特性を大いに活かし、「**時代に即した、将来に向けた研究テーマ**」が設定され、研究に携わった一人ひとりの個性と知識・見識を集結し、試行錯誤の中からプレゼンの完成度も高めた。この研究を通して、**クリエイティブな精神をより培い、まさに本学の「建学の精神」の具現化を図っている**。この機会は、今後益々高度化する現代社会で、社会人となる皆に求められるものを創造する難しさを痛感させ、自らの力を見つめ直し、社会に一步を踏み出す大きな「**自信**」につながる大変有意義な機会となったはずだ。

専門学校静岡電子情報カレッジでは「**モノづくりの醍醐味**」につなげる制作プロセスやターゲット設定、コンテンツとの整合性のスキーム発表内容であった。面白いアイデアと自分たちのスキルを追求した作品で全体のクオリティも高かった。

今後は**Society5.0**：ICT、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、メタバース等のデジタル革新による「生産性向上」だけでなく「社会のありよう」まで変えようとする提唱。この分野での**先導的継続研究**に期待する。

また、静岡福祉医療専門学校では「時代に即したテーマや背景が色濃く反映

され、そのプレゼン技法にも創意工夫が見られ、大変感激させられた。各学科ともこれまでの**学びの姿勢や探究心**に満ち溢れ、それぞれの**職業観**がよく表現され、「**若い感性**」による上達したプレゼンに称賛の拍手を送った。

そして、今後も研鑽重ね、「**スペシャリスト**」としての道を切り拓いていただきたい。

残してくれたみんなの集大成は、本学の貴重な財産である！！

プレゼンを通しての高評価は、学生だけに留まらず、我々教職員にも大きな「**自信**」となり、これからの学生指導への大きな「**励み**」となった。

この成果は次年度に継承され、今年度以上の大きな成果を期待するところだ。

特に、電子の「**産学連携プログラム**」や「**コラボによる付加価値創造**」につながるレベルの研究、福祉においては「**地域に開かれた専門学校**」に基づく「**ボランティア：地域活動**」等の**後輩への継承**を強く期待する。

また、海外研修修学旅行代替行事：SDG sをテーマ「**東京研修**」も見事に成功させた。

「歴史を大切にしながら、10年・20年先の社会を見据えた研修」

・2025・2030年問題、DX化、異常気象などの現代社会の課題

・様々な課題とSDG sとの繋がりを身近に捉える

・学科毎に専門スキルを活かし、問題解決の具体策、貢献できる具体策を探索

まとめに「**人づくり60年**」の**生涯教育者**であった

本学園創設者の教えである

I was born. Keep alive. 「人は、生まれ、生かされている」、「人は誰もが、無限の可能性を秘めている」ゆえに、「日本人としてのアイデンティティを持ち、仕事を通して自己実現を図る」。「**これだけの事をやったんだ**」という「**自信**」と「**誇り**」を持って、「**試行錯誤**」の中から「**自己実現**」を図るのです。君たちの時代を築いてください。

もし皆さんが人生の中で困難に直面し、立ち止まった時には、気楽に本学に戻ってきて下さい。本学は皆さんが戻ってきて、共に考え、社会にリスタートできる基盤となるべく準備をして待っております。

そのためにもプロフェッショナルとしての卒業生の皆さんの力で、本学の実践的職業教育「**人づくり**」を社会から支えて頂きたい。卒業生の皆さんは今後も本学をよりよくするための大切な人的インフラです。これは、**卒業生だからこそできること**なんです。

そして、たまには学校に寄って、元気な顔を見せて下さい。

最後に、このように令和5年度「**卒業証書授与式**」を迎えられることができたことを、先ずは卒業生のみんなに敬意を表するとともに、卒業生とともにここまで学校生活を支えていただいた保護者の皆さん、また、試行錯誤のうえ今日の日を迎えられるよう尽力頂いた在校生及び教職員に対して心より感謝申し上げます。

それでは、健康には十分留意され、

君たちの新たな旅立ちに、心より幸多きことを祈る！

Bon Voyage

担任の先生からのメッセージ

副校長・IT ゲーム&ロボットシステム学科 有賀 浩

卒業おめでとう！

相変わらず感染症との闘いが続いた令和5年度でしたが、学事はほぼコロナ前の状態に戻り、産学官連携事業、フィールドスタディーも活発化。実り多い1年間となりました。今年度もまた学生の皆さんが大きく成長し、その姿に幾度も感動し、心から嬉しく、また感謝の気持ちでいっぱいです。

生成AIの急激な普及で、分野問わず一層ICTが活用されるようになりました。AIだけで完結したエンタメコンテンツやゲームも登場。学習データに日本語がどんどん加わり、進化から目が離せません。

4月から、そんな世の中でプロフェッショナルとしての人生を歩み始める卒業生の皆さん。如何なる時代にあっても、本学の「全人教育」を通して身につけた「自信」と、元気よく笑顔で心から湧き出す「挨拶」で、明るい未来を築き、大きな幸せをも創造して下さい！

いつまでも「理想」を失わず、校訓「技術は力なり、我は我が道を行く」の下、仕事を通して常に自己を成長させて行って下さい。

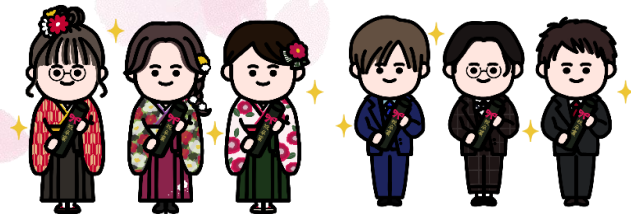
みなさんの笑顔に再会できる日を、心から楽しみにしています！

教頭 富田 順子

ご卒業おめでとうございます。

おそらく最後になる学生生活の中で出会った仲間は、将来にわたって付き合いのできるかけがえのない友となったのではないのでしょうか。これから先、就職・趣味・結婚・子育てなどの様々なシーンで、楽しい時も大変な時もきっと大切な絆となって、皆さんに力をくれるはず。何かあったときにはぜひこの絆を思い出して大切に紡いでいって欲しいと願っています。

また、上手く最短距離で歩いていくことも可能ですが、失敗したり回り道をした方が、より多くの経験を積むことができます。失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦してみてください。たとえ失敗を重ねることになっても、その過程で学んだことは全て皆さんの糧として積み重なり、人生を豊かなものにしてくれると思います。自信をもって一歩踏み出してみてください。それぞれの進路での更なる活躍を期待しています。



進路室長 橋野 幸男

『常に片足をあげておく』――。

「ITカンファレンス・プロジューサー & エンジェル投資家」奥田浩美さんの言葉です。1991年の起業以来、ITバブル崩壊やリーマン・ショックなど数々の予測不能な困難に遭遇しながらも、IT業界の第一線で活躍してきた奥田さん。コロナ禍の中では2021年5月に、メタバース上の実験的なコミュニティ「Well-being Metaverse」を始動させました。そうした数々のチャレンジの中で形成してきた彼女の「仕事の流儀」が、冒頭で紹介した言葉です。こう説明なさっています。

＝ 私はいつも軸足とは別の足はあげておいて、社会の変化や興味に合わせて、次にどこにその足を置こうかと考えています。いろんなところに片足を置いてみて、すぐにひっこめることもあれば、しっかり足をつけて新しい一歩になることもある。＝

例えば「ChatGPT」をはじめとする「生成AI」の登場が働き方やキャリア形成に大きなインパクトを与えているように、今日、**変革のサイクルが極めて速くなっています**。米国・シリコンバレーでは、「『4 to 40』から『4 to 4』の時代へ」という言葉が流行っているそうです。「高等教育機関で4年間学べば、40年後（の定年）まで働くことができる」時代は終わり、今や「4年間学んだ知識で4年働く。一つのスキルの賞味期限は、わずか4年」という時代に突入した、という意味です。

そんな時代に逞しく生きるには、**常に学び続ける**ことが必要です。その継続的な学び（「ワーク・ライフ&ラーニング バランス」、「リスクリング」）、そして**変化の本質の洞察**を踏まえて、「次にどこに足を置くか」と、『**建学の精神**』にある「**試行錯誤**」を繰り返して行ってください。

本学で学んだ皆さんが『**自らの成長（人格実現）**』と『**社会への貢献（価値提供）**』の両輪を果す人材として各々の分野でご活躍なさることを、心から期待しています。

音響&映像メディアクリエイイト学科 五味 正太郎

まずは、卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

これから社会に出る皆さんに一つの名言を送ります。俳優のデンゼル・ワシントンの言葉である「**Fall Forward**(前に転べ)」です。社会に出ると多くの壁や障害にぶつかることがあると思います。また、たくさんの失敗を経験するでしょう。ただの失敗で終わるのではなく、前に進むことができる失敗にすることが大切です。“モノ作りには、失敗することにかかる金と労力が必要”という言葉もあります。失敗から何を学び、何を糧にするのかそれが実践では一番の勉強になります。

また大きく成長した姿を見せに学校に来てくれることを期待しています。この度は本当にご卒業おめでとうございます。

子ども心理学科 井上 充子

ご卒業おめでとうございます。胸を張って笑顔で巣立つみなさんをとて誇らしく思います。夢に向かう日々の中で、みなさん自身の努力もさることながら、共に励まし合った仲間やみなさんを取り巻くすべての方々に支えられてこの日を迎えたことを忘れないでください。これから社会人となるみなさんの行く道は順風満帆とはいかず、険しく厳しいことも多いでしょう。はじめはみんなビギナーです。自信をなくし歩みを止めたくなる日もあるかもしれませんが、その経験が財産になる日が必ず来ます。自分を信じて下を向かず前を向いて、一歩ずつ歩みを進めましょう。今後のみなさんのご活躍とご健闘を心よりお祈りしています。

総合福祉学科 石田 麗

ご卒業おめでとうございます。

3年間で大きく成長した皆さん！それぞれ充実した学生生活を過ごされたことと思います。皆さんの未来は、前程万里です。この先の人生には大きな可能性が広がっています。ただ、人生は常に順調ではなく、時には自己疑念や後悔も生じることがあると思います。

しかし、すべての経験は自分自身を強くし、成長させてくれます。小さな努力が積み重なって必ず大きな成果となります。自分の選んだ道を迷わずに進んでください。

皆さんには、これまでに出会ったたくさんの人たちがいます。その人たちとの繋がりを、あなたの未来に繋げていってください。皆さんのご活躍とお幸せを心よりお祈りしています。

介護福祉学科 隈本 つばさ

ご卒業おめでとうございます。

2年間、10人にも満たないクラスで、よく頑張ってきてくれました。人数が少ない分、任されることが多く、ときには嫌な思いをさせてしまったかもしれません。

しかし、自ら行動を起こしてくれる学生や、お願いをすると快く引き受けてくれる学生ばかりで、とてもありがたかったです。これから社会人になるにあたり、不安に思うこともたくさんあると思います。周りの人への気遣いもでき、協力的なみんななら、きっと大丈夫！！みんなが思いえがく、なりたい介護福祉士になれることを祈っています。みんなのこれからの人生、笑顔と幸せが溢れる素晴らしいものとなりますように……

